

平成 25 年度  
矢作川の樹木伐採箇所の現場踏査

平成 25 年 9 月 12 日

## 1. 検討手順

### 1) 基礎資料の収集整理

- ・ 矢作川平面図 (1/2500)
- ・ 矢作川空中写真 (平成 22 年 1 月撮影)
- ・ 矢作川河川整備計画 (平成 21 年 7 月)
- ・ 矢作川河川維持管理計画 (平成 24 年 5 月)
- ・ 河川水辺の国勢調査 (未公表基礎資料を含む)
  - 植 生：平成 17 年 3 月、平成 21 年 2 月、平成 25 年 5 月
  - 鳥 類：平成 24 年 3 月
  - 昆虫類：平成 23 年 6 月
  - 魚 類：平成 22 年 2 月
  - 小動物：平成 19 年 3 月

### 2) 現地確認

《視点》

- ・ 伐採対象樹木群の確認 (航空写真との相違)
- ・ 樹木群に接する水際の確認 (水衝部、ワンド等)
- ・ 河川施設の位置確認 (橋梁、堤防道路、樋管、公園施設、駐車場、散策道等)
- ・ 河川利用状況 (グラウンド、耕作地等)
- ・ 高水敷へのアクセス性
- ・ その他

### 3) 情報の集約と作図

上記の情報を平面図および縦断表に整理


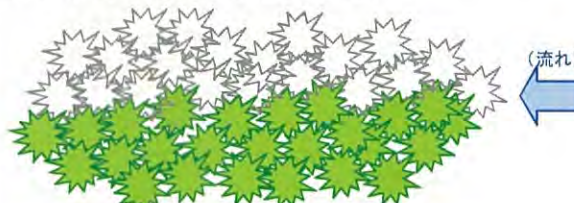
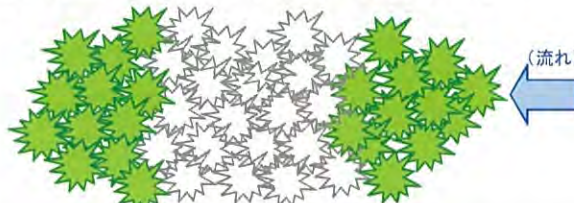
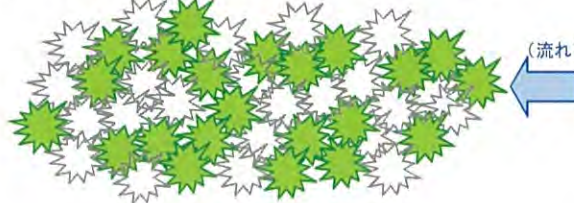

### 4) 樹木伐採方針 (素案) の検討

- ① 整備計画で「樹木伐採」区間として位置付けられている区間を、治水上の配慮を優先することとし、優先度「A」と設定。
- ② 整備計画で「樹木の適正管理」区間として位置付けられている区間を、積極的に樹木を管理する必要のある区間として、優先度「B」と設定。
- ③ その他区間を、比較的優先度が低い区間として、優先度「C」と設定。
- ④ それぞれの優先度区間について、環境等の配慮事項を考慮し、樹木伐採方法を設定した。

《視点》

- ・ 流下能力不足の区間 → 基本は全伐採  
ただし流下能力阻害の影響の大きい竹林を優先的に伐採
  - ・ 水際に接している樹木 → 区域伐採 (水際部の存置)
  - ・ 水辺の楽校への配慮 → 存置 (環境の改変の軽減)
  - ・ その他の区間 → 存置
- ⑤ その他配慮事項の整理
    - (ア) コブシ、カワドリ類は中州等に営巣、水域・水辺での採餌を行うため、樹木伐採による影響は軽微と考えられる。
    - (イ) 樹木伐採等にあたっては、伐採エリア内 (特に水辺、湿地環境のエリア) において、重要植物の生育を確認し、必要に応じて伐採範囲の修正等が必要となる。
    - (ウ) 区域伐採および間伐の実施に際して、詳細な存置範囲や密度の設定は、有識者・学識者の意見を参考に設定する。

表-1 伐採形状

形状	概要	特徴
存置 (現状)	現況の樹木群を維持する。 	◎現状の自然環境を維持できる。 ×流下能力の向上は図れない。
区域伐採	帯状伐採 流下方向に対して帯状に伐採する。 (ex. 水際の植生を維持する) 	○樹木群による流速低減を期待しつつ、流下能力の向上が図られる。 ○伐採範囲によっては、現況の自然環境の改変を軽減できる。
	間断伐採 流下方向に対して間断的に伐採する。 	○伐採区間について、流下能力の向上が可能。 ○伐採範囲によっては、現況の自然環境の改変を軽減できる。 △伐採範囲の堤防沿いの流速変化が堤防に悪影響を及ぼす場合がある。
間伐	樹木群をある程度の間隔で伐採する。 	○樹木群の流水に対する透過率が上昇するため、ある程度の流下能力の向上が可能。 ○伐採範囲 (密度) によっては、現況の自然環境・景観の改変を軽減できる。 △植生の生育環境が変化する。 △存置樹木への外力が増加するため、倒伏・流失の可能性が高まる。
全伐採	樹木群を全て伐採する。 	◎流下能力が大幅に向上出来る。 ×現状の自然環境が失われる。

## 2. 矢作川の樹木の変遷（参考資料）

矢作川の河道内樹木については、昭和 50～51 年頃は殆ど高木は見られない状況であった。これが、平成 4 年以降の約 20 年間で大幅に樹林化したものである。

矢作川の本風景としては、本来は高水敷の草地および流路内の白い砂が広がる風景であると考えられる。

ただし、現在の形成されている自然環境についても十分な配慮が必要である。

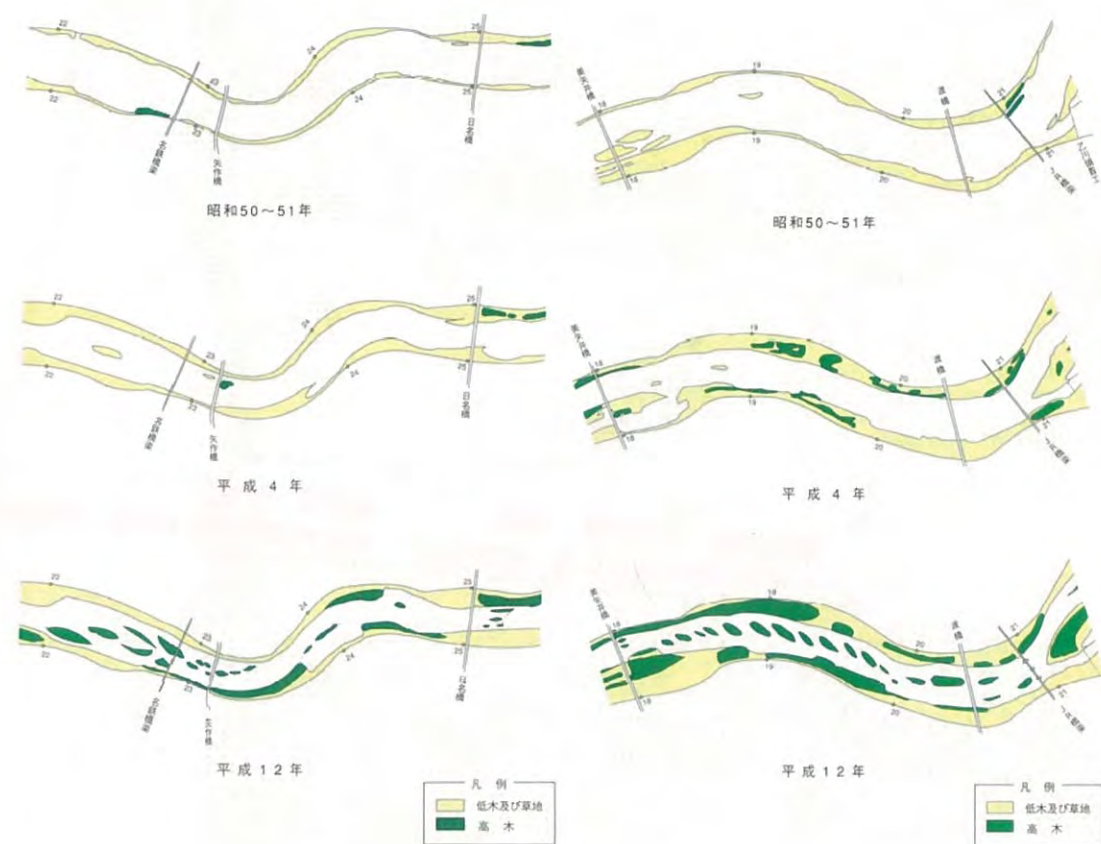


図-1 矢作川の河道内樹木の変遷  
出典 矢作川の伝統工法  
(中部建設協会、矢作川の伝統工法を  
観察する会)

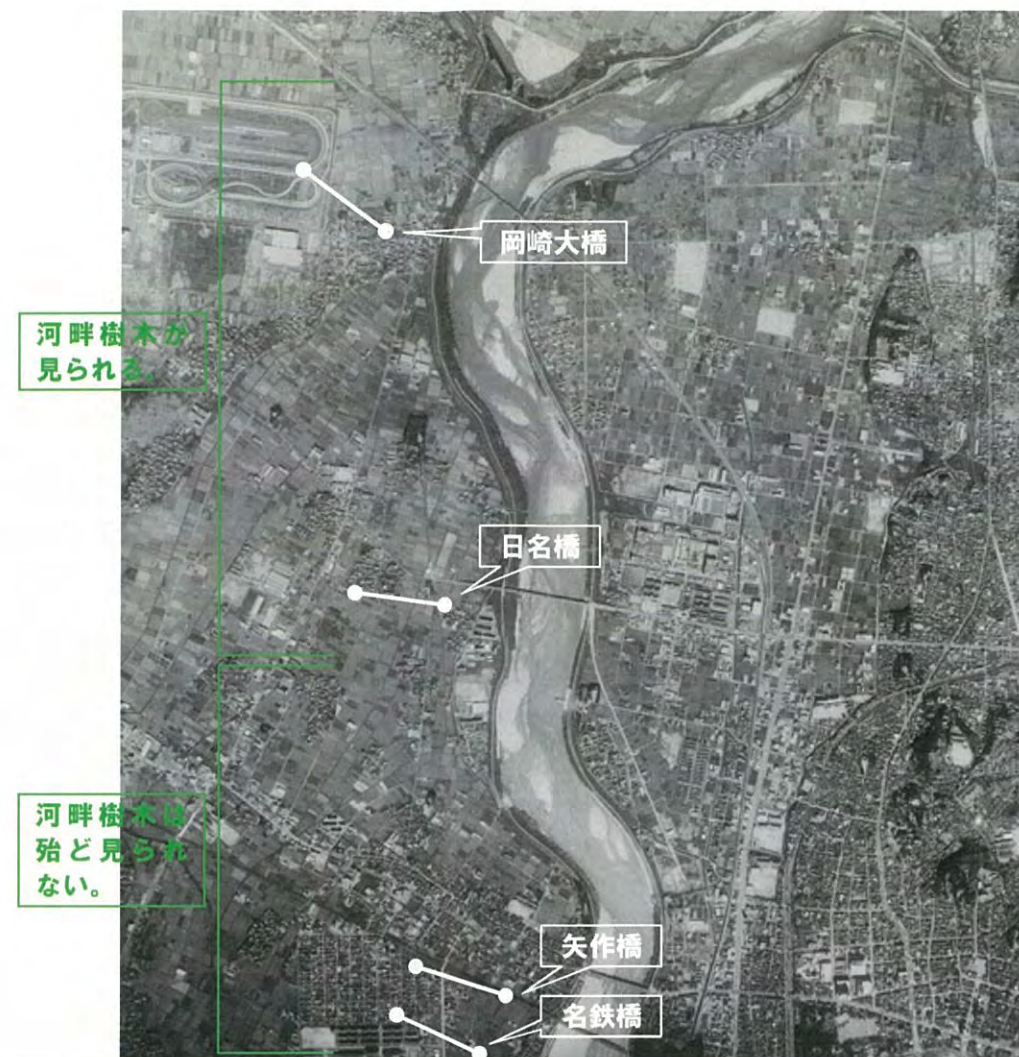
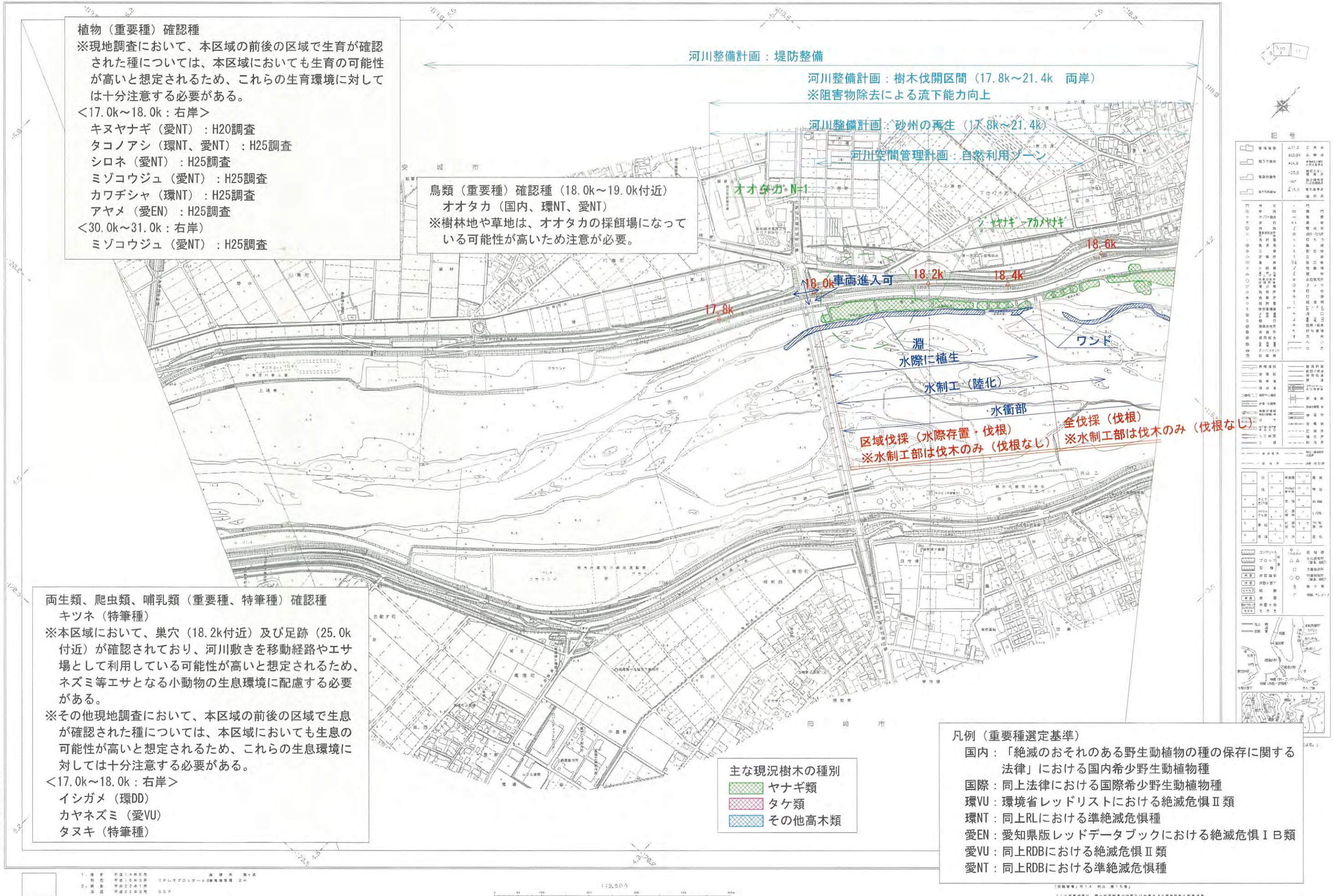


図-2 昭49年当時の航空写真

矢作川平面図 10



**植物 (重要種) 確認種**  
 ※現地調査において、本区域の前後の区域で生育が確認された種については、本区域においても生育の可能性が高いと想定されるため、これらの生育環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k: 右岸>  
 キヌヤナギ (愛NT) : H20調査  
 タコノアシ (環NT、愛NT) : H25調査  
 シロネ (愛NT) : H25調査  
 ミゾコウジュ (愛NT) : H25調査  
 カワヂシャ (環NT) : H25調査  
 アヤメ (愛EN) : H25調査  
 <30.0k~31.0k: 右岸>  
 ミゾコウジュ (愛NT) : H25調査

**鳥類 (重要種) 確認種 (18.0k~19.0k付近)**  
 オオタカ (国内、環NT、愛NT)  
 ※樹林地や草地は、オオタカの採餌場になっている可能性が高いため注意が必要。

**両生類、爬虫類、哺乳類 (重要種、特筆種) 確認種**  
 キツネ (特筆種)  
 ※本区域において、巣穴 (18.2k付近) 及び足跡 (25.0k付近) が確認されており、河川敷きを移動経路やエサ場として利用している可能性が高いと想定されるため、ネズミ等エサとなる小動物の生息環境に配慮する必要がある。  
 ※その他現地調査において、本区域の前後の区域で生息が確認された種については、本区域においても生息の可能性が高いと想定されるため、これらの生息環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k: 右岸>  
 イシガメ (環DD)  
 カヤネズミ (愛VU)  
 タヌキ (特筆種)

**主な現況樹木の種別**  
 ヤナギ類  
 タケ類  
 その他高木類

**凡例 (重要種選定基準)**  
 国内: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における国内希少野生動植物種  
 国際: 同上法律における国際希少野生動植物種  
 環VU: 環境省レッドリストにおける絶滅危惧Ⅱ類  
 環NT: 同上RLにおける準絶滅危惧種  
 愛EN: 愛知県版レッドデータブックにおける絶滅危惧ⅠB類  
 愛VU: 同上RDBにおける絶滅危惧Ⅱ類  
 愛NT: 同上RDBにおける準絶滅危惧種

中田建設株式会社 監製

1. 調査 平成14年8月  
 2. 調査 平成15年3月  
 3. 調査 平成20年1月  
 4. 調査 平成22年3月

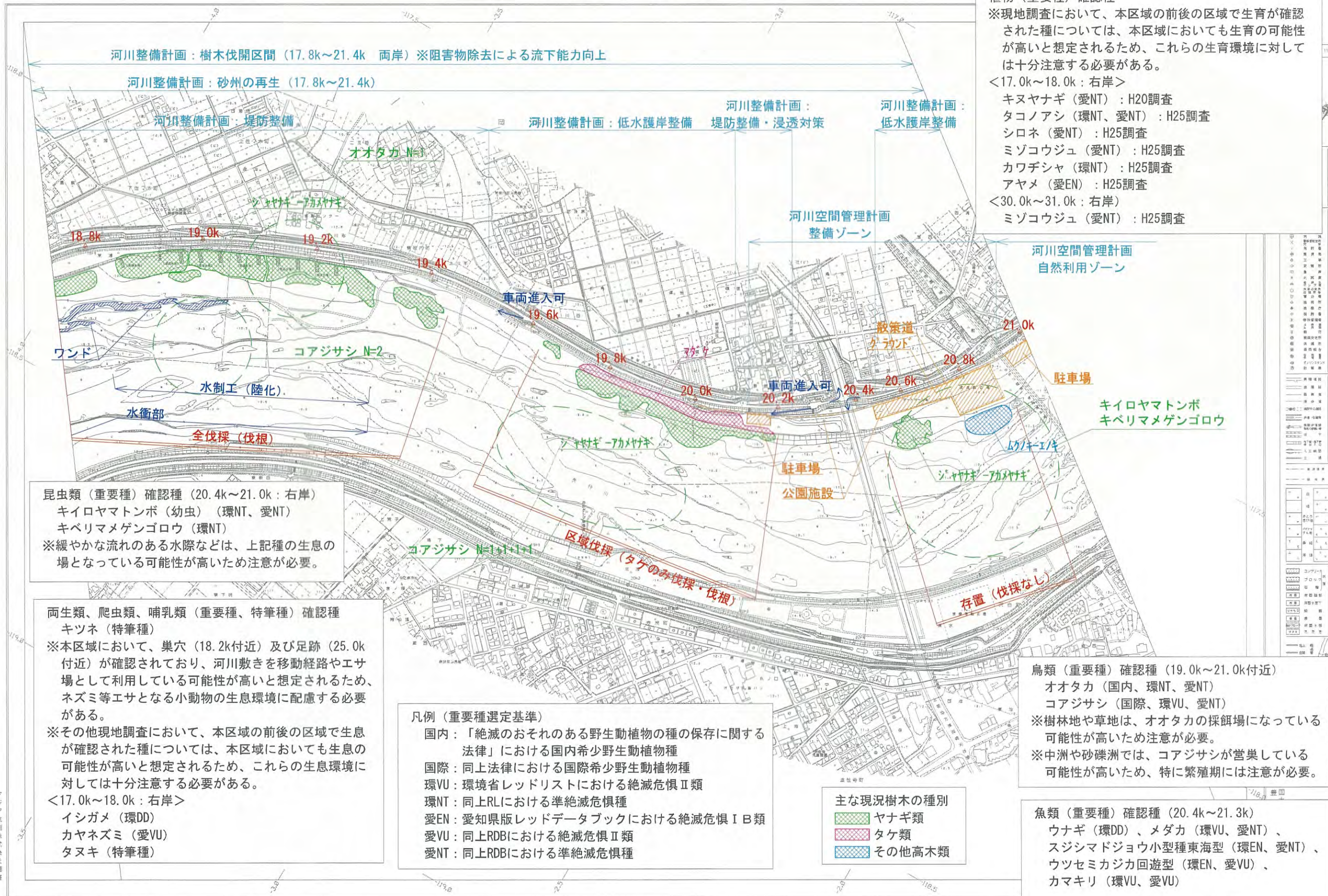
矢作川平面図



アジアカルテック株式会社 修正

- 1. 測量 平成14年 3月 測量 国・県
- 2. 測量 平成15年 3月 測量 国・県
- 3. 測量 平成22年 1月 測量 国・県
- 4. 測量 平成23年 3月 測量 国・県

矢作川平面図 1



植物（重要種）確認種  
 ※現地調査において、本区域の前後の区域で生育が確認された種については、本区域においても生育の可能性が高いと想定されるため、これらの生育環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k：右岸>  
 キヌヤナギ（愛NT）：H20調査  
 タコノアシ（環NT、愛NT）：H25調査  
 シロネ（愛NT）：H25調査  
 ミゾコウジュ（愛NT）：H25調査  
 カワチシャ（環NT）：H25調査  
 アヤメ（愛EN）：H25調査  
 <30.0k~31.0k：右岸>  
 ミゾコウジュ（愛NT）：H25調査

昆虫類（重要種）確認種（20.4k~21.0k：右岸）  
 キロヤマトンボ（幼虫）（環NT、愛NT）  
 キベリマメゲンゴロウ（環NT）  
 ※緩やかな流れのある水際などは、上記種の生息の場となっている可能性が高いため注意が必要。

両生類、爬虫類、哺乳類（重要種、特筆種）確認種  
 キツネ（特筆種）  
 ※本区域において、巣穴（18.2k付近）及び足跡（25.0k付近）が確認されており、河川敷きを移動経路やエサ場として利用している可能性が高いと想定されるため、ネズミ等エサとなる小動物の生息環境に配慮する必要がある。  
 ※その他現地調査において、本区域の前後の区域で生息が確認された種については、本区域においても生息の可能性が高いと想定されるため、これらの生息環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k：右岸>  
 イシガメ（環DD）  
 カヤネズミ（愛VU）  
 タヌキ（特筆種）

凡例（重要種選定基準）  
 国内：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における国内希少野生動植物種  
 国際：同上法律における国際希少野生動植物種  
 環VU：環境省レッドリストにおける絶滅危惧Ⅱ類  
 環NT：同上RLにおける準絶滅危惧種  
 愛EN：愛知県版レッドデータブックにおける絶滅危惧ⅠB類  
 愛VU：同上RDBIにおける絶滅危惧Ⅱ類  
 愛NT：同上RDBIにおける準絶滅危惧種

鳥類（重要種）確認種（19.0k~21.0k付近）  
 オオタカ（国内、環NT、愛NT）  
 コアジサシ（国際、環VU、愛NT）  
 ※樹林地や草地は、オオタカの採餌場になっている可能性が高いため注意が必要。  
 ※中洲や砂洲では、コアジサシが営巣している可能性が高いため、特に繁殖期には注意が必要。

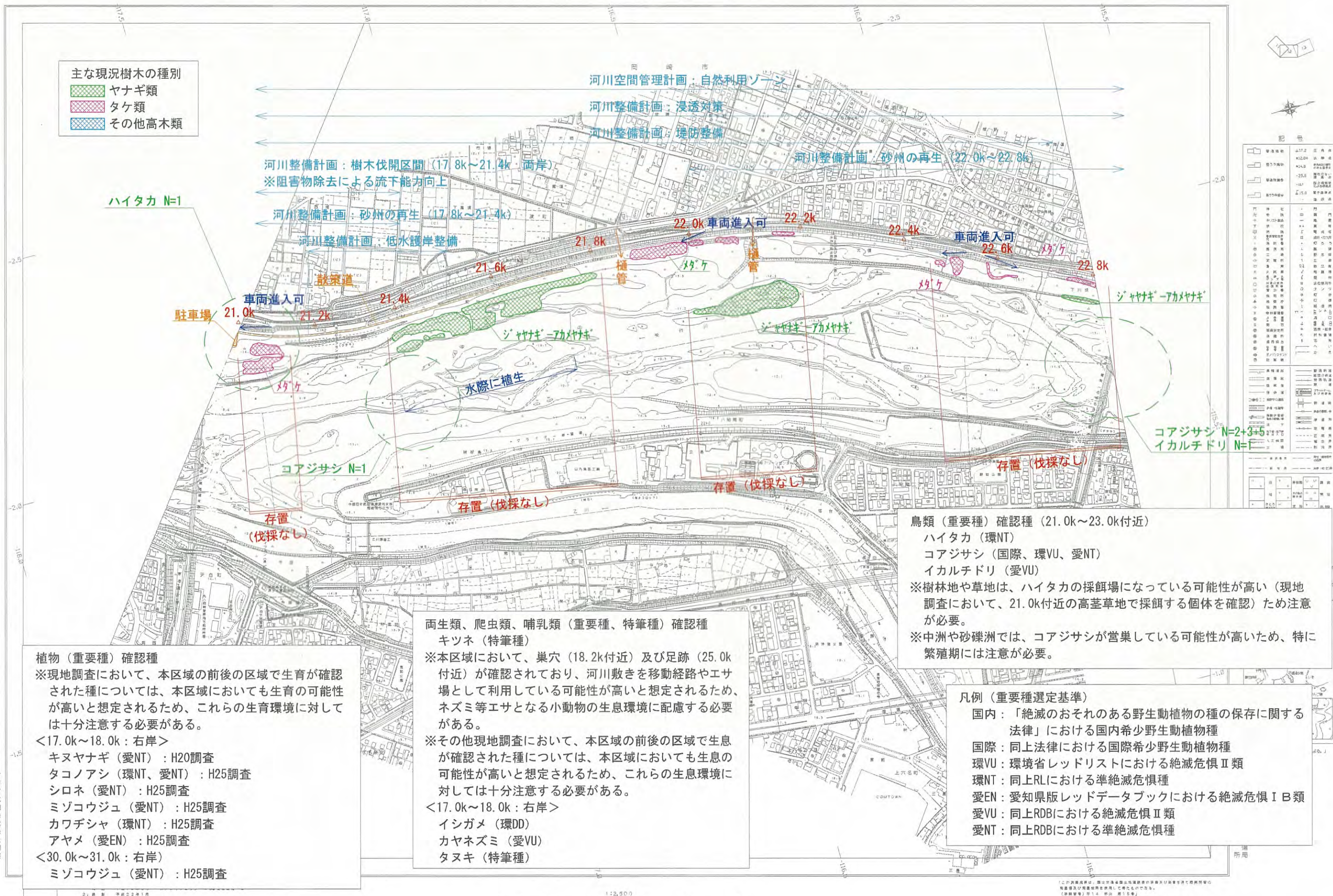
魚類（重要種）確認種（20.4k~21.3k）  
 ウナギ（環DD）、メダカ（環VU、愛NT）、スジマドジョウ小型種東海型（環EN、愛NT）、ウツセミカジカ回遊型（環EN、愛VU）、カマキリ（環VU、愛VU）

1	河川整備計画	樹木伐開区間
2	河川整備計画	砂州の再生
3	河川整備計画	堤防整備
4	河川整備計画	低水護岸整備
5	河川空間管理計画	整備ゾーン
6	河川空間管理計画	自然利用ゾーン
7	河川敷	河川敷
8	河川敷	河川敷
9	河川敷	河川敷
10	河川敷	河川敷
11	河川敷	河川敷
12	河川敷	河川敷
13	河川敷	河川敷
14	河川敷	河川敷
15	河川敷	河川敷
16	河川敷	河川敷
17	河川敷	河川敷
18	河川敷	河川敷
19	河川敷	河川敷
20	河川敷	河川敷
21	河川敷	河川敷
22	河川敷	河川敷
23	河川敷	河川敷
24	河川敷	河川敷
25	河川敷	河川敷
26	河川敷	河川敷
27	河川敷	河川敷
28	河川敷	河川敷
29	河川敷	河川敷
30	河川敷	河川敷
31	河川敷	河川敷
32	河川敷	河川敷
33	河川敷	河川敷
34	河川敷	河川敷
35	河川敷	河川敷
36	河川敷	河川敷
37	河川敷	河川敷
38	河川敷	河川敷
39	河川敷	河川敷
40	河川敷	河川敷
41	河川敷	河川敷
42	河川敷	河川敷
43	河川敷	河川敷
44	河川敷	河川敷
45	河川敷	河川敷
46	河川敷	河川敷
47	河川敷	河川敷
48	河川敷	河川敷
49	河川敷	河川敷
50	河川敷	河川敷



1:2,500

矢作川平面図 12



- 主な現況樹木の種別
- ヤナギ類
  - タケ類
  - その他高木類

記号	説明
(Symbol)	河川
(Symbol)	堤防
(Symbol)	橋
(Symbol)	歩道
(Symbol)	車道
(Symbol)	緑地
(Symbol)	水域
(Symbol)	建物
(Symbol)	その他

**植物 (重要種) 確認種**  
 ※現地調査において、本区域の前後の区域で生育が確認された種については、本区域においても生育の可能性が高いと想定されるため、これらの生育環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k: 右岸>  
 キヌヤナギ (愛NT) : H20調査  
 タコノアシ (環NT、愛NT) : H25調査  
 シロネ (愛NT) : H25調査  
 ミゾコウジュ (愛NT) : H25調査  
 カワヂシャ (環NT) : H25調査  
 アヤメ (愛EN) : H25調査  
 <30.0k~31.0k: 右岸>  
 ミゾコウジュ (愛NT) : H25調査

**両生類、爬虫類、哺乳類 (重要種、特筆種) 確認種**  
 キツネ (特筆種)  
 ※本区域において、巢穴 (18.2k付近) 及び足跡 (25.0k付近) が確認されており、河川敷きを移動経路やエサ場として利用している可能性が高いと想定されるため、ネズミ等エサとなる小動物の生息環境に配慮する必要がある。  
 ※その他現地調査において、本区域の前後の区域で生息が確認された種については、本区域においても生息の可能性が高いと想定されるため、これらの生息環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k: 右岸>  
 イシガメ (環DD)  
 カヤネズミ (愛VU)  
 タヌキ (特筆種)

**鳥類 (重要種) 確認種 (21.0k~23.0k付近)**  
 ハイタカ (環NT)  
 コアジサシ (国際、環VU、愛NT)  
 イカルチドリ (愛VU)  
 ※樹林地や草地は、ハイタカの採餌場になっている可能性が高い (現地調査において、21.0k付近の高茎草地で採餌する個体を確認) ため注意が必要。  
 ※中洲や砂礫洲では、コアジサシが営巣している可能性が高いため、特に繁殖期には注意が必要。

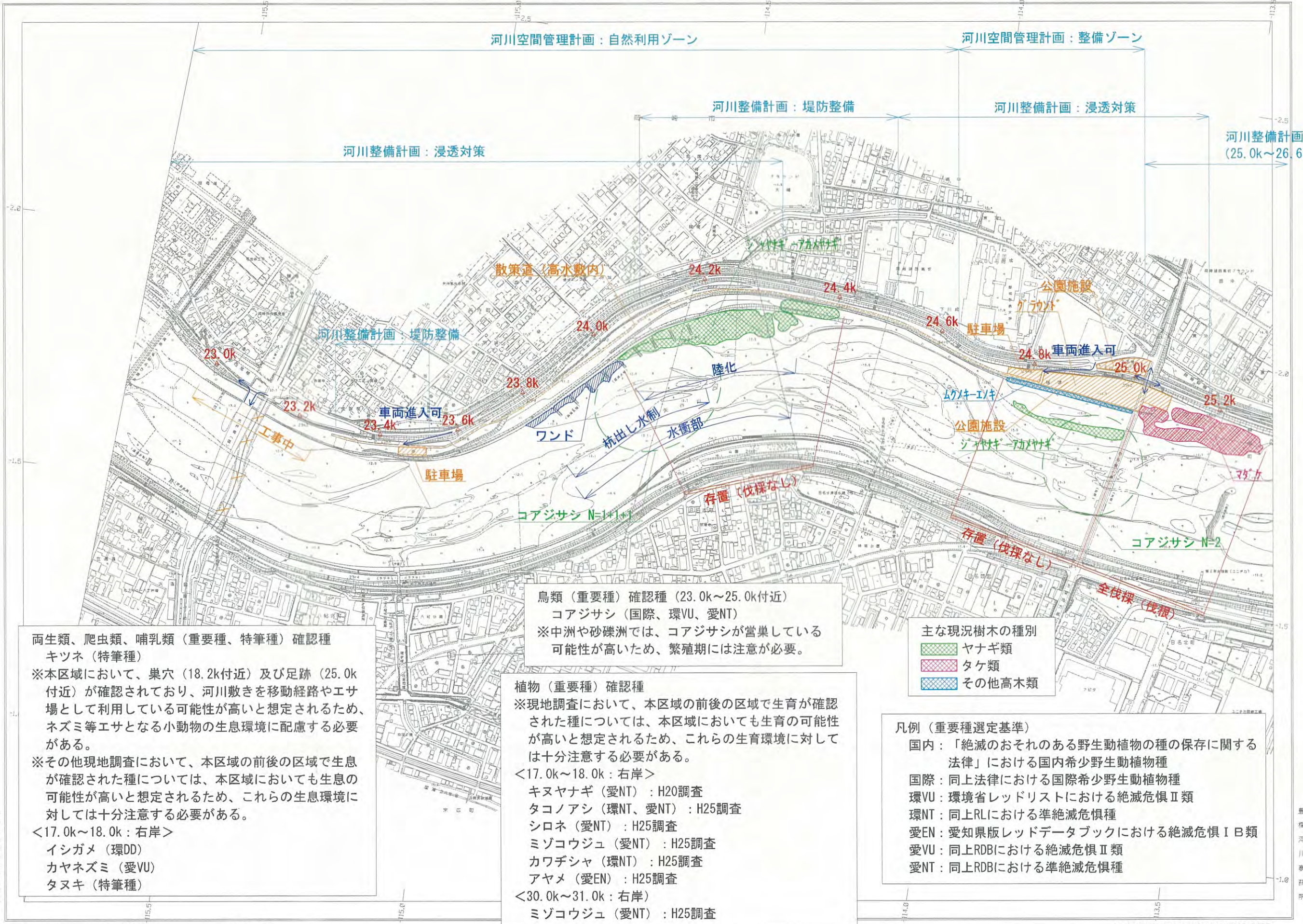
**凡例 (重要種選定基準)**  
 国内: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における国内希少野生動植物種  
 国際: 同上法律における国際希少野生動植物種  
 環VU: 環境省レッドリストにおける絶滅危惧II類  
 環NT: 同上RLにおける準絶滅危惧種  
 愛EN: 愛知県版レッドデータブックにおける絶滅危惧IB類  
 愛VU: 同上RDBにおける絶滅危惧II類  
 愛NT: 同上RDBにおける準絶滅危惧種





1. 本図は、国土交通省国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の状況と異なる場合があります。  
 2. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の状況と異なる場合があります。  
 3. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の状況と異なる場合があります。

# 矢作川 平面図 13



記号	名称
[Symbol]	河川敷
[Symbol]	歩道
[Symbol]	自動車道
[Symbol]	公園施設
[Symbol]	駐留地
[Symbol]	水電部
[Symbol]	散策道
[Symbol]	陸化
[Symbol]	水田
[Symbol]	雑草
[Symbol]	樹林
[Symbol]	水路
[Symbol]	境界
[Symbol]	建物
[Symbol]	道路
[Symbol]	鉄道
[Symbol]	河川

**両生類、爬虫類、哺乳類（重要種、特筆種）確認種**  
 キツネ（特筆種）  
 ※本区域において、巣穴（18.2k付近）及び足跡（25.0k付近）が確認されており、河川敷を移動経路やエサ場として利用している可能性が高いと想定されるため、ネズミ等エサとなる小動物の生息環境に配慮する必要がある。  
 ※その他現地調査において、本区域の前後の区域で生息が確認された種については、本区域においても生息の可能性が高いと想定されるため、これらの生息環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k：右岸>  
 イシガメ（環DD）  
 カヤネズミ（愛VU）  
 タヌキ（特筆種）

**鳥類（重要種）確認種（23.0k~25.0k付近）**  
 コアジサシ（国際、環VU、愛NT）  
 ※中洲や砂礫洲では、コアジサシが営巣している可能性が高いため、繁殖期には注意が必要。

**植物（重要種）確認種**  
 ※現地調査において、本区域の前後の区域で生育が確認された種については、本区域においても生育の可能性が高いと想定されるため、これらの生育環境に対しては十分注意する必要がある。  
 <17.0k~18.0k：右岸>  
 キヤマナギ（愛NT）：H20調査  
 タコノアシ（環NT、愛NT）：H25調査  
 シロネ（愛NT）：H25調査  
 ミゾコウジュ（愛NT）：H25調査  
 カワヂシャ（環NT）：H25調査  
 アヤメ（愛EN）：H25調査  
 <30.0k~31.0k：右岸>  
 ミゾコウジュ（愛NT）：H25調査

**主な現況樹木の種別**  
■ ヤナギ類  
■ タケ類  
■ その他高木類

**凡例（重要種選定基準）**  
 国内：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における国内希少野生動植物種  
 国際：同上法律における国際希少野生動植物種  
 環VU：環境省レッドリストにおける絶滅危惧Ⅱ類  
 環NT：同上RLにおける準絶滅危惧種  
 愛EN：愛知県版レッドデータブックにおける絶滅危惧ⅠB類  
 愛VU：同上RDBにおける絶滅危惧Ⅱ類  
 愛NT：同上RDBにおける準絶滅危惧種

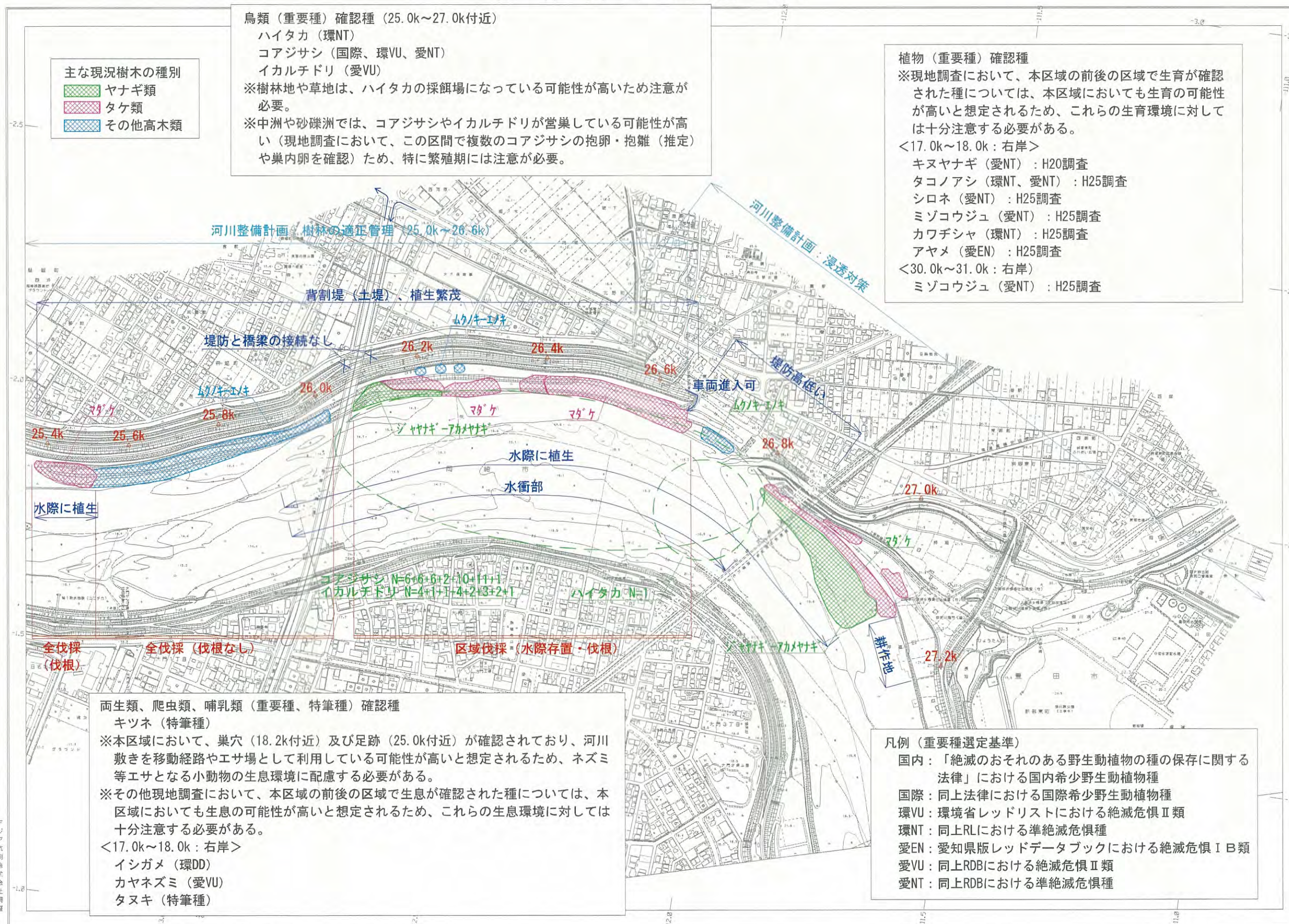
※この図面は、測量士事務所が測量士及び測量士補の資格を有する者が作成し、測量士事務所が責任を持って作成したものであり、測量士事務所が責任を持って作成したものである。  
 「測量士法」第14条 第1項  
 「測量士法」第21条 第1項



1. 縮尺 1:2,500  
 2. 縮尺 1:2,500  
 3. 縮尺 1:2,500  
 4. 縮尺 1:2,500  
 5. 縮尺 1:2,500  
 6. 縮尺 1:2,500  
 7. 縮尺 1:2,500  
 8. 縮尺 1:2,500  
 9. 縮尺 1:2,500  
 10. 縮尺 1:2,500  
 11. 縮尺 1:2,500  
 12. 縮尺 1:2,500  
 13. 縮尺 1:2,500  
 14. 縮尺 1:2,500  
 15. 縮尺 1:2,500  
 16. 縮尺 1:2,500  
 17. 縮尺 1:2,500  
 18. 縮尺 1:2,500  
 19. 縮尺 1:2,500  
 20. 縮尺 1:2,500  
 21. 縮尺 1:2,500  
 22. 縮尺 1:2,500  
 23. 縮尺 1:2,500  
 24. 縮尺 1:2,500  
 25. 縮尺 1:2,500  
 26. 縮尺 1:2,500  
 27. 縮尺 1:2,500  
 28. 縮尺 1:2,500  
 29. 縮尺 1:2,500  
 30. 縮尺 1:2,500  
 31. 縮尺 1:2,500  
 32. 縮尺 1:2,500  
 33. 縮尺 1:2,500  
 34. 縮尺 1:2,500  
 35. 縮尺 1:2,500  
 36. 縮尺 1:2,500  
 37. 縮尺 1:2,500  
 38. 縮尺 1:2,500  
 39. 縮尺 1:2,500  
 40. 縮尺 1:2,500  
 41. 縮尺 1:2,500  
 42. 縮尺 1:2,500  
 43. 縮尺 1:2,500  
 44. 縮尺 1:2,500  
 45. 縮尺 1:2,500  
 46. 縮尺 1:2,500  
 47. 縮尺 1:2,500  
 48. 縮尺 1:2,500  
 49. 縮尺 1:2,500  
 50. 縮尺 1:2,500  
 51. 縮尺 1:2,500  
 52. 縮尺 1:2,500  
 53. 縮尺 1:2,500  
 54. 縮尺 1:2,500  
 55. 縮尺 1:2,500  
 56. 縮尺 1:2,500  
 57. 縮尺 1:2,500  
 58. 縮尺 1:2,500  
 59. 縮尺 1:2,500  
 60. 縮尺 1:2,500  
 61. 縮尺 1:2,500  
 62. 縮尺 1:2,500  
 63. 縮尺 1:2,500  
 64. 縮尺 1:2,500  
 65. 縮尺 1:2,500  
 66. 縮尺 1:2,500  
 67. 縮尺 1:2,500  
 68. 縮尺 1:2,500  
 69. 縮尺 1:2,500  
 70. 縮尺 1:2,500  
 71. 縮尺 1:2,500  
 72. 縮尺 1:2,500  
 73. 縮尺 1:2,500  
 74. 縮尺 1:2,500  
 75. 縮尺 1:2,500  
 76. 縮尺 1:2,500  
 77. 縮尺 1:2,500  
 78. 縮尺 1:2,500  
 79. 縮尺 1:2,500  
 80. 縮尺 1:2,500  
 81. 縮尺 1:2,500  
 82. 縮尺 1:2,500  
 83. 縮尺 1:2,500  
 84. 縮尺 1:2,500  
 85. 縮尺 1:2,500  
 86. 縮尺 1:2,500  
 87. 縮尺 1:2,500  
 88. 縮尺 1:2,500  
 89. 縮尺 1:2,500  
 90. 縮尺 1:2,500  
 91. 縮尺 1:2,500  
 92. 縮尺 1:2,500  
 93. 縮尺 1:2,500  
 94. 縮尺 1:2,500  
 95. 縮尺 1:2,500  
 96. 縮尺 1:2,500  
 97. 縮尺 1:2,500  
 98. 縮尺 1:2,500  
 99. 縮尺 1:2,500  
 100. 縮尺 1:2,500

この図面は、国土交通省国土院の「国土院地籍情報システム」に基づき作成されたものであり、正確性を保証するものではありません。  
 (資料番号) 甲14 第15号  
 (この図面は、国土院地籍情報システムに基づき作成されたものであり、正確性を保証するものではありません。)  
 (資料番号) 甲21 第15号

# 矢作川平面図 14



**主な現況樹木の種別**

- ヤナギ類
- タケ類
- その他高木類

**鳥類（重要種）確認種 (25.0k~27.0k付近)**

- ハイタカ (環NT)
- コアジサシ (国際、環VU、愛NT)
- イカルチドリ (愛VU)

※樹林地や草地は、ハイタカの採餌場になっている可能性が高いため注意が必要。

※中洲や砂礫洲では、コアジサシやイカルチドリが営巣している可能性が高い（現地調査において、この区間で複数のコアジサシの抱卵・抱雛（推定）や巣内卵を確認）ため、特に繁殖期には注意が必要。

**植物（重要種）確認種**

※現地調査において、本区域の前後の区域で生育が確認された種については、本区域においても生育の可能性が高いと想定されるため、これらの生育環境に対しては十分注意する必要がある。

<17.0k~18.0k：右岸>

- キヌヤナギ (愛NT)：H20調査
- タコノアシ (環NT、愛NT)：H25調査
- シロネ (愛NT)：H25調査
- ミゾコウジュ (愛NT)：H25調査
- カワヂシャ (環NT)：H25調査
- アヤマ (愛EN)：H25調査

<30.0k~31.0k：右岸>

- ミゾコウジュ (愛NT)：H25調査

○	調査地点	△	鳥類確認種
□	調査区画	◇	植物確認種
●	調査点	■	調査区画
◎	調査区画	■	調査区画
◎	調査区画	■	調査区画
◎	調査区画	■	調査区画
◎	調査区画	■	調査区画

**凡例（重要種選定基準）**

- 国内：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」における国内希少野生動植物種
- 国際：同上法律における国際希少野生動植物種
- 環VU：環境省レッドリストにおける絶滅危惧Ⅱ類
- 環NT：同上RLにおける準絶滅危惧種
- 愛EN：愛知県版レッドデータブックにおける絶滅危惧ⅠB類
- 愛VU：同上RDBにおける絶滅危惧Ⅱ類
- 愛NT：同上RDBにおける準絶滅危惧種

**両生類、爬虫類、哺乳類（重要種、特筆種）確認種**

キツネ (特筆種)

※本区域において、巣穴 (18.2k付近) 及び足跡 (25.0k付近) が確認されており、河川敷きを移動経路やエサ場として利用している可能性が高いと想定されるため、ネズミ等エサとなる小動物の生息環境に配慮する必要がある。

※その他現地調査において、本区域の前後の区域で生息が確認された種については、本区域においても生息の可能性が高いと想定されるため、これらの生息環境に対しては十分注意する必要がある。

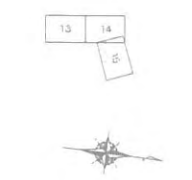
<17.0k~18.0k：右岸>

- インガメ (環DD)
- カヤネズミ (愛VU)
- タヌキ (特筆種)

調査データ：  
 コアジサシ N=6+6+6+2+10+11+1  
 イカルチドリ N=4+1+1+4+2+3+2+1  
 ハイタカ N=1

伐採計画：  
 全伐採 (伐根)  
 全伐採 (伐根なし)  
 区域伐採 (水際存置 - 伐根)

矢作川平面図 14

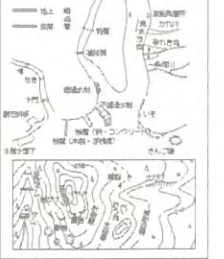


記号	
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明

記号	
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明

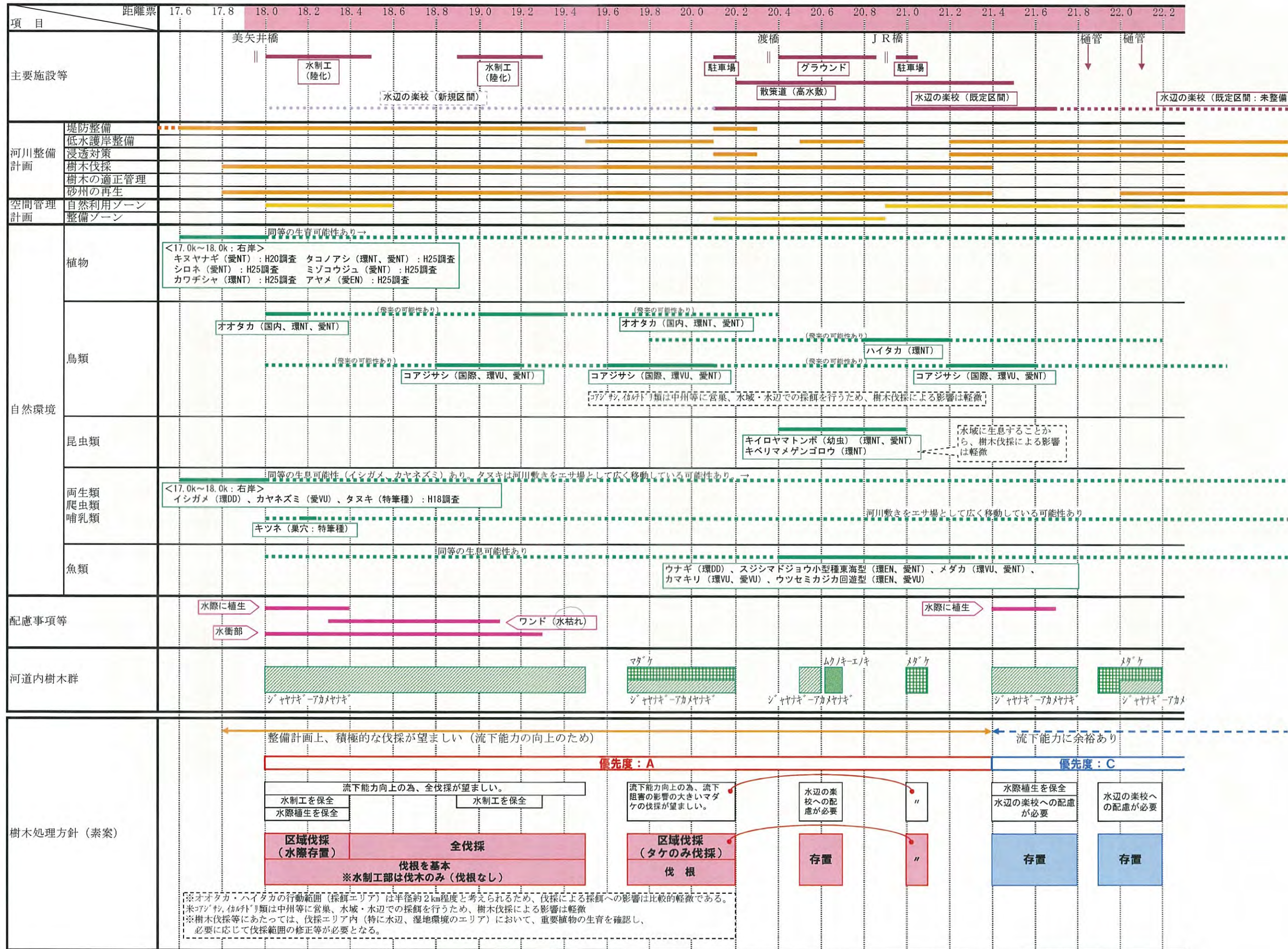
記号	
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明

記号	
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明
[Symbol]	説明

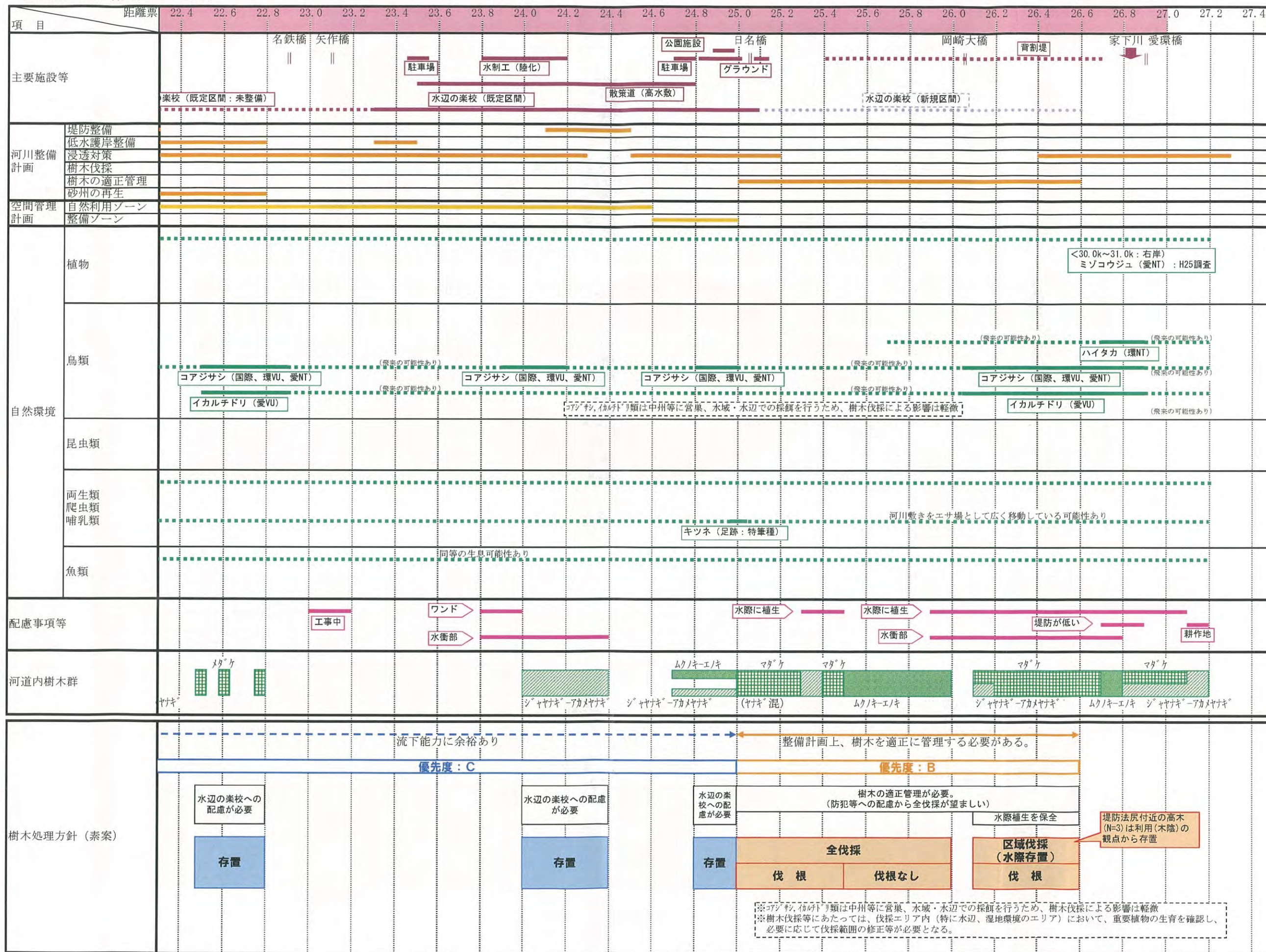


河川中流部

樹木伐採方針（素案） (1/2)



樹木伐採方針（素案） (2/2)





(流路側)



(堤防側)

美矢井橋上流イメージ



(下流側)



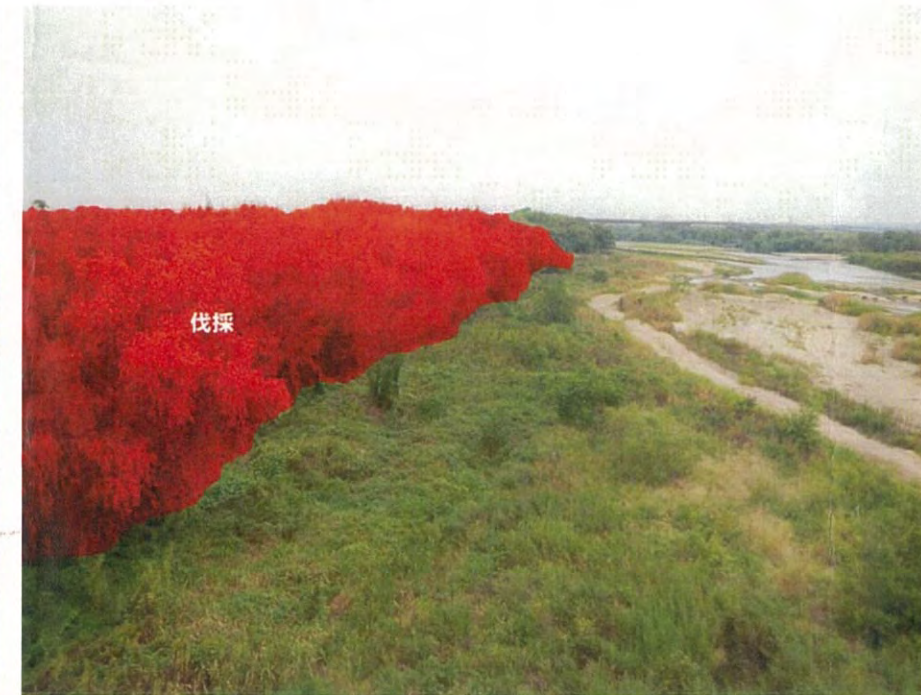
(上流側)

渡橋付近イメージ





(下流側)



(上流側)

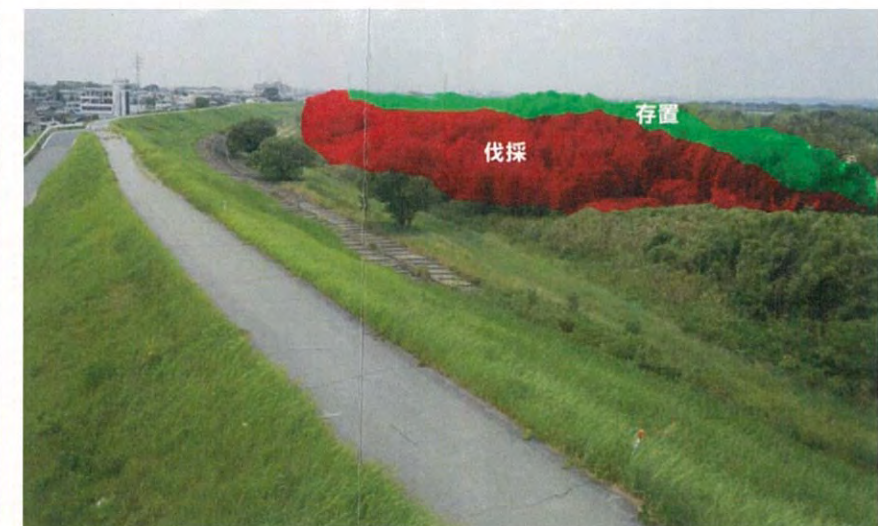
日名橋付近イメージ



(下流側)



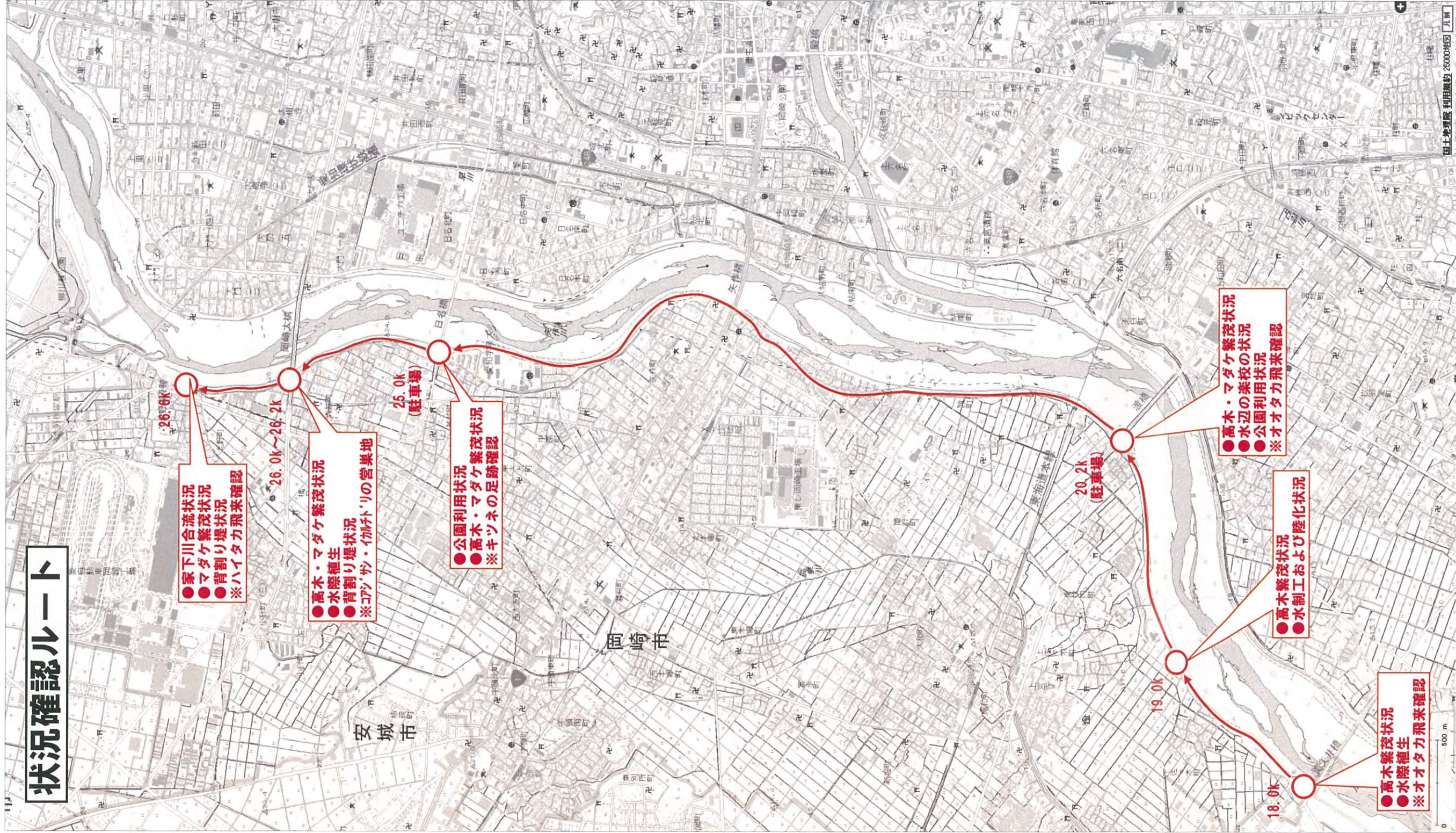
(上流側：流路側)  
岡崎大橋上流側イメージ



(上流側：堤防側)



# 状況確認ルート



- 家下川合流状況
- マダケ繁茂状況
- 背割り堤状況
- ※ ハイタカ飛来確認

- 高木・マダケ繁茂状況
- 水際植生
- 背割り堤状況
- ※ コアシ・カトリの営巣地

- 公園利用状況
- 高木・マダケ繁茂状況
- ※ キツネの足跡確認

- 高木・マダケ繁茂状況
- 水辺の乗物の状況
- 公園利用状況
- ※ オオタカ飛来確認

- 高木繁茂状況
- 水制工および陸化状況

- 高木繁茂状況
- 水際植生
- ※ オオタカ飛来確認

